

よつ葉だより

2020年
4月20日号
No.601

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よつ葉生活協同組合

「出さない、拡げない」よつ葉生協における新型コロナウイルス感染対策について

組合員の皆様へ

新型コロナウイルスの感染拡大について、日々緊迫した状況が報道されています。よつ葉生協では、確実に継続して組合員の皆さんに商品をお届けできるよう、日常業務の中で感染防止対策に努めています。

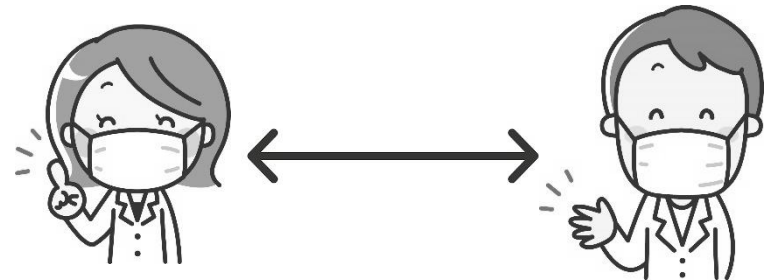
4月の理事会では、商品をお届けする業務を第一に考え、農業体験など多くの方が集まる行事や各委員会の活動などは、しばらくの間は中止することを決定いたしました。組合員の皆様にはご理解とご協力をいただきますよう、どうかよろしくお願いいたします。

よつ葉生協では、飛沫感染・接触感染を防ぐための対策をすすめています。

全事業所で共通して取り組んでいる3点とともに、各部所ですすすめている対策をお知らせいたします。

特に、配送業務、商品セット業務、管理業務が集中している本部事務所（小山市）では、感染拡大を防止するための対策を強化しています。各フロア間での行き来をなくし、フロア内でも動線の分離などを考え、感染のリスクとともに濃厚接触者を減らすための対策を行っています。

- 1 マスク着用、毎日の健康チェック、検温、手洗い、手指消毒の徹底
- 2 <3つの密>を徹底して避けます
密閉を避ける・・・換気をよくする
密接を避ける・・・近距離での会話を避ける
密集を避ける・・・2m以上の間隔を空ける
- 3 休日也不要不急の外出を控え、感染リスクの高い場所へは行かない



★生協本部、営業所などの内勤業務

手すりや取っ手など、複数人が触れる部分のふき取り消毒を徹底しています。
商談や打ち合わせなどは電話やメールでの対応のみとし、来協者を制限するために郵便物の授受なども1階の玄関先で対応しています。
事務所内は常時、換気をしながら業務をおこなっています。

★商品セット業務

セットライン機器の共用部分は、作業開始前に必ずアルコール消毒を行い、セット作業中は2m以上の間隔をとって行うように努めています。
昼食休憩も、3密を避けるためグループ別にとるように切り替えています。



★配送などの外勤業務

配送担当は、こまめな体調チェックとともに、マスク着用と殺菌のためアルコール消毒剤の携行を徹底しています。外勤者は帰所後の3密を減らすため、動線の分離やグループ分けなどの対策を強化しています

★以上のような対策をしても、生協管内で感染者が出た場合・・・迅速な情報公開とともに、保健所の指導のもと対応をすすめます。感染者の発生状況によっては、組合員の皆様への配達を中止せざるを得ない場合も考えられます。配達を止める場合は、ホームページでお知らせするとともに、当日配達の方へは個別でのご連絡を開始します。

今後も組合員への情報発信は、よつ葉だより、配送チラシ、ホームページ上などでおこないます。

組合員へお届けする安全や安心は、職員ひとりひとりの丁寧な業務の積み重ねの上に成り立つものと自覚し、全員で日々の感染防止に努めています。

組合員の皆様には、よつ葉だより、配送担当者ニュース、ホームページ上などで、情報発信を行っています。今後も社会状況の変化に合わせ、きめ細やかな情報を提供できるように努めます。ご不明な点や不安なことがありましたら、協同購入注文書やホームページのご意見欄、または直接のお電話やメールで、よつ葉生協までお知らせください。

連絡先 よつ葉生協本部組合員室 0120-07-1613 メールアドレス yotsuba @tochigi.email.ne.jp

一週間に一度の配達の基本の「私の生協生活」のヒント！

「毎日の献立が思い浮かばない」、「一週間の買い物をどうやって考えればいいのか？」などの声を時々いただきます。そんなお悩み解決に、理事の小田切さんが毎週行っている「小田切家の献立作り」を、教えてくれました！この方法を参考にして、「我が家流」に楽しくアレンジしてみてください。無理せずできるところからチャレンジしましょう♪

よつ葉生協 小田切家の場合

生協って、注文して一週間後に届くから、ちょっと活用するのがむずかしいな。

他の組合員さんってどうしてるのかな？と思っている皆さんに、1つのアイデアとして我が家のよつ葉生活をご紹介します。

1 週間の夕ご飯献立の立て方と注文

① まず、宅配日から始まる一週間の票を作ります。

月 1	火 2	水 3	木 4	金 5	土 6	日 7

② 予定があって、普段より時間のない日に印をつけます。

月 1 ●	火 2	水 3	木 4	金 5 ●	土 6	日 7

③ 印をつけた日に、手早くできる料理名や総菜利用することを書きます。

月 1 ●	火 2	水 3	木 4	金 5 ●	土 6	日 7
焼きそば				よつ葉の惣菜		

④ 他の曜日に、メイン食材を書きます。

月 1 ●	火 2	水 3	木 4	金 5 ●	土 6	日 7
ぶた	とり	魚	ひき肉		牛	魚
焼きそば				よつ葉の惣菜		

⑤ メイン食材を利用した料理名を書きます。
使う食材を書き出します。(必要なら使う量も)(覚えていられるなら書かなくてもよい)

月 1 ●	火 2	水 3	木 4	金 5 ●	土 6	日 7
ぶた	とり	魚	ひき肉		牛	魚
焼きそば	筑前煮	焼き魚	麻婆豆腐	よつ葉の惣菜	ビーフジャー	手巻き寿司

焼きそば	鶏モモ	魚	豚ひき肉		ルー	刺身
ぶた肉	レンコン		長ネギ		牛肉	卵
キャベツ	人参		豆腐		ジャガイモ	のり
人参	ごぼう		しょうが		人参	
玉ねぎ	こんにゃく				玉ねぎ	

⑥ 「くらら」で、かき出した食材を注文します。
もし、載っていないときは代用できそうなものを注文するか、料理名を変更します。(注文週の「くらら」のレシピを活用すると変更が少なく済む)

⑦ 味噌汁や副菜などに使いたい食材は、「くらら」に載っているものから決めて注文します。(選びながら料理名が思いついたらメモをしておくとう便利)

⑧ おやつや調味料、食べたいものなど、必要なものを注文します。
空いたところに、その週に注文したものをメモしておくとう見返すのに役に立ちます。

1週間の献立をノートに作っておくと、献立に困ったときに見返して参考にできるのでおすすめです。

外食に行ったりして作れない日もあったりするので、その時はずらしたり、翌週の献立に使ったりします。臨機応変に。

その通りにせず、曜日を変えたり、同じ材料で別のものを作ったりすることも自分の中でO.Kにして、自由度を与えておくことも大切です。(理事 小田切)



コロナ騒ぎの中、
配達して下さりありがとうございます。
本当に助かります。
(つくば地区 A・Oさん)

よつ葉生協の皆さまの
健康が守られますようお祈りして
います。
関わる多くの人のおかげで、いつもの
品物が届くことに感謝しております。
ありがとうございます。
(小山地区 Y・Hさん)

【組合員さんの声】

新型コロナウイルス警戒で外出を控えています。生協さんに自宅まで食材を届けていただきとても助かっています。スタッフの皆さんもどうぞお体をお大事にお過ごしください。
(桐生地区 N・Kさん)


3月30日号の「よつ葉だより」の、「いつも通り！」というタイトルを見てハッとしました。

毎日毎日新型コロナウイルスのニュースを見てどんどん不安な状況になっていく。子供たちは休校で家にいて、一日三食の食事も考えなくてはならないし、今までのペースで仕事や家事も出来ていない。この先どんな風になっていくのだろう。そんなことばかり考えていました。そんな今だからこそ「いつも通り！」が大切だなと思えました。

こんな不安な時期に、毎週商品をお届けくださり、本当に本当にありがとうございます。

子供たちが家にいることで注文する商品の変化もありました。タカサゴパンさんを注文しています。こちらもよつ葉だよりに掲載されていて、良かったです。今号には気持ちの上で色々助けていただきました。こんな時によつ葉生協さんと繋がっていることに感謝しています。

(太田地区 S・Yさん)

よつ葉生協の皆様、
この状況下、宅配のありがたさを本当に感じております。心から感謝しております。食料品の心配をしなくていい事が、どれだけ心身の負担を軽減していることか...
今後更にきびしい状況になると想像しています。社会インフラ事業として、どうか事業継続に向け万全なご対応を宜しくお願い致します。

(館林地区 S・Mさん)

【担当の藤井さんへ】

職場（保育園）配達の為、なかなかお会いしてお話するというのが出来ませんでした。安心安全な商品をお届け頂ける有難さを、コロナがあってより感じます。ありがとうございました。さらなるご活躍をお祈りしていますね！

(館林地区 S・Fさん)



安心・安全な美味しい食材を毎週ありがとうございます



地域活動支援センター 2019.4~2020.3

開所日数 252日

昼食提供 158日

宅配弁当・外食 94日

昼食作り・おやつに役立ち利用者も大喜びです。



こどもの部屋 2019.4~2020.2

開所日数 174日

食事提供 501人

平日の夕食、長期休業中の軽食等で利用しています。



いただいた食材

2019年度上期 753.7kg
下期 675.3kg

合計 1,429kg

地域活動支援センター・こどもの部屋・グループホームの3事業所で有効に無駄なく使わせていただきました



認定NPO法人 蔵の街たんぽぽの会

東毛酪農業協同組合を見学しました！



8月5日(月)、前橋・高崎地区委員会で見学に行きました。始めに、大久保組合長よりお話を伺いました。

太田市では、全国でも珍しく学校給食に東毛酪農の低温殺菌(75℃で15秒間殺菌)が提供されている。低温殺菌牛乳は、一般的な高温殺菌(130℃以上で2秒殺菌)特有の臭みがなく、生乳のような甘さが特徴。牛乳嫌いの多くは、高温殺菌牛乳独特の焦げ臭と味とされている。牛乳は、骨を強くするためのカルシウムや良質なたんぱく質が豊富。まずは、子どもの時から美味しい牛乳を飲んでもらうことで、牛乳嫌いをなくしたいと思ったそうです。

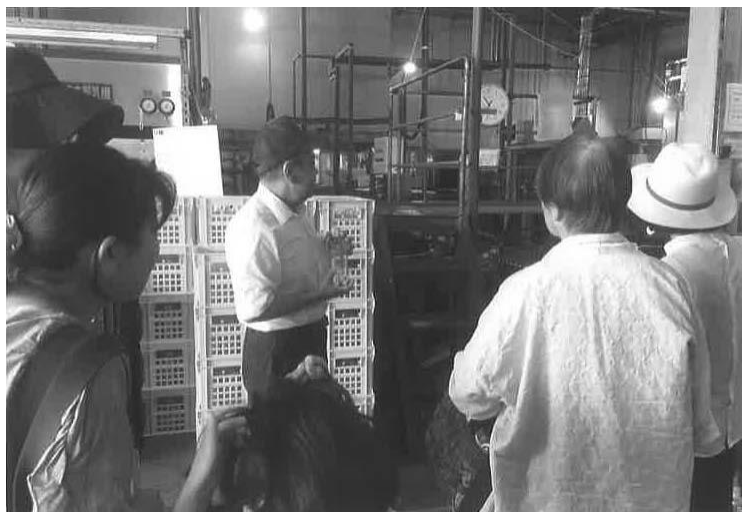
「大久保組合長からの説明」



乳業組合の生産者も農家さんと同じように、後継者不足から廃業せざるを得ず、年々減ってきている。平成27年には28の生産者がいたが、4年経った現在は22生産者に。後継者不足の原因の一つが、休みがない、儲からないなどの理由から若い生産者が集まらないこと。平均的な生産者の場合、飼育している乳牛の数が50頭で、そのうち搾乳できる牛が30頭、その他の20頭は育成とすると、1年間で約3000万円の売り上げになる。しかし、そのうち餌代が2250万円(売り上げの75%)かかってしまう。その他の経費を引くと、夫婦で経営していても年収が350万円で休みもほぼ取れない状況。国は大きく展開しろというが、今の状況からは難しい。小規模でも経営が成り立つような、日本型農業を残す対策を考えないと、地域の環境や食糧を守っていけないと組合長。「消費者も考えないと、日本の食糧はなくなるよ」との言葉が印象的だった。

大久保理事長のお話を聞いた後に、工場見学。ガラス瓶を洗瓶するところから見せてもらった。今では、ほとんど見かけなくな

「ピンを洗うライン」



った学校給食での瓶牛乳。東毛酪農では、東京の小平市、国立市、東村山市、群馬県玉村町に提供している。臭いに敏感な人は、紙パックの接着材の臭いが気になるらしい。給食で今でも瓶牛乳が飲めるなんて、本当にうらやましい。

ちょうど動き出した充填ラインを外から見学した。詰める前に、瓶に危険な割れや欠けがないかなど、しっかりと検査する。現在は、瓶牛乳を見かける機会が少なくなったせいか、製品に全く影響のない、瓶の外側の小さな傷へのクレームが多いとのこと。商品に対する消費者の理解も必要と感じた。

前橋・高崎委員会 担当 田嶋

食糧を生産する地域の農業をしっかり残していかないと、日本の将来は守れないというお話を聞き、1人の消費者として、酪農家の方がいないと安全で美味しい牛乳は飲めないという、当たり前前のことに全く気付かず生活してきたことを反省しました。

「大きな製氷室」



食べないと生きていけない私たち人間。どのように食べものが出てくるか、農業を続けてくださっている人の努力があって、野菜や肉、牛乳など、日々の食べものが出てくること。それらを忘れてしまっていると感じ、感謝して生活したいと思いました。

前橋・高崎委員 鈴木

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

ゴールデンウィークの間、印刷屋さんお休みのため、5月11日のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。よろしくお願い致します。



東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (4月2週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	6,800
震災孤児を支援する募金 (910番)	22,200
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	7,300
合計	36,300

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

